風地蔵新聞

第１９１号
題字　岩瀬桃谷
発行　編集
風地蔵
白石　美帆
〒503-0922
岐阜県大垣市
馬場町８５
ご感想・エッセー・俳句・短歌などお待ちします

台風１０号

大橋　美紀

８月１２日午後３時に台風１０号が超大型の台風になり１４日夜から１５日には西日本に接近し上陸する恐れがあると発表され、毎日台風情報を見ていました。去年の台風２１号で我が家は瓦が飛び、雨漏りそして天井が落ちました。かなりの被害が岐阜も出ましたのでニュースを見ながら早めの備えをと思っていました。

１４日から雨が降り出し、この辺は１５日夜がピークだとの情報。１５日の朝にはリビング以外の雨戸を閉め外の物置、ゴミ箱、傘立てととにかく玄関に入れました。

夕方より雨も強くなり風も強くなり、岐阜は直撃ではありませんでしたが、１９時には夕食を済ませ、２０時にはお風呂も入って情報を見ながらリビングで過ごしていると２１時を過ぎた頃、家の電気が消えました。

リビングの窓から外を見ると川の向こうは電気がついている。この辺だけの停電でした。

いつも準備している懐中電気を付け、ラジオをつけ電気が戻るのを待っていたのですが３０分を過ぎても１時間を過ぎても戻らず、エアコンも切れているので部屋はムシムシの暑さ、友達に電話をすると「扇風機つければ」と友達が言う。私は、「扇風機も電力ないとつかないよ」返すと「そっかぁ」って笑いながら「うちわ、うちわあるでしょ」「あおいでるけど暑くてたまらんよ」私は、雨が入りこもうが風が降り込もうがリビングの窓を全開しました。犬もいますので冷凍室から犬用のアイスノンを出します。ゲージの中で何が起きているのかわからない愛犬、アイスノンの上に頭をのっけて大人しくしていてくれました。

２時間が過ぎまだ復旧しない。もしかして朝までなのかもしれないと思い覚悟もしました。もう冷蔵庫も開けない様に、飲むお茶もだしリビングで寝ることにし、犬のゲージの傍に布団をひいて、私も頭にアイスノンをして横になりました。ゴーゴーと吹く風で部屋の中の物がゴトゴト音をならす。時より雨が強くなると雨音も大きくなる。横になるだけで眠れる訳がありません。２３時３０分頃、中電の工事車両が来たのが見えました。

これで復旧すると思い待ってる時間がすごく長く感じました。早く早くと願い、２４時を過ぎた頃、部屋の電気が付きアイコンの物はカチャカチャ音を立てて何もなかったのかの様に戻る。エアコンを入れ直し、びちゃびちゃになったリビングの床を拭き私も何もなかったかの様に２階に上がり眠りにつきました。

次の朝、又いつも通りの朝に戻っていました。

停電をするとどうなるのかは、頭ではわかっていたつもりでした。でも実際に停電を３時間経験した事で不自由さ、ありがたさを改めてわかりました。

台風の季節はこれからです。大きな被害がでないことを願っています。

あまでうす

『風景印』

最近では、神社仏閣を参拝し、各社寺ごとの様々にデザインされた〈御朱印〉なるものを集めるのがブームだという。また、それに伴い、様々な〈御朱印帳〉というものもあり、こちらも人気を博しているようだ。そのいっぽうでは御朱印を巡ってトラブルも起きているという。

それはさておき、日本各地には、その土地にゆかりのある名所旧跡をデザインし、大きさは直径36ミリで、とび色をした一般的には丸型の〈風景印〉というものがある。中には丸型のみならず、変型の〈風景印〉も数多ある。

（風景印……？　なんじゃそれ！）と思われた方も多くいるのではなかろうか。

〈風景印〉の正式名は、〈風景入通信日付印（ふうけいいりつうしんにっぷいん）〉という。それが何処にあるのかというと、誰もが一度は利用したことのある身近な場所…な、なんと郵便局である。

つまりこれは、消印がわりに押印してもらうのだが、葉書や封筒をポストに投函してしまっては押してもらえない。これだと、普通の消印（丸型和文印、和欧文印、ローラー印など）を押されることになる。ではどうするか。窓口へ持って行き、「風景印を押してください」と頼まなければならない。

ちなみに、家の近くにある郵便局の一部風景印を紹介すると、各務原東郵便局のデザインは、村国座と木曽川の風景に中山道の道標。おが せ郵便局は、池祭りの風景に睡蓮と鯉。各務原駅前郵便局は、飛行機と炉端遺跡（この風景印は提時計の文字板にしている）が描かれている。

20代から30代の頃、各地の珍しい風景印に凝ったことがあり、しこたま郵頼（郵便で依頼する）していた。封筒に切手を貼り、その中に（葉書、封筒の場合は返信用切手を貼ったもの）に、自分の住所と名前を明記し、依頼状を入れて投函する。こうすれば、依頼した相手の郵便局から風景印が押されて返送されてくる。この頃に郵頼して、各地の風景印が押印された葉書（いつも葉書に押印してもらっていた）が、今も50枚ほどストックしてある。

20代頃は多くの女性と文通（懐かしい！）していたこともあり、相手に出す手紙はもちろんのこと、風景印を押し、（普通の消印では味気ないため）相手から来る手紙にも風景印が押されてあるものが多かった。

あの頃の手紙は、捨ててしまい現在では一通も残っていない。

ただし、封筒だけは残っている。なぜかというと、封筒に切手を貼って消印、及び風景印を押印したものを〈エンタイア〉と呼び、収集していたからである。

先日も、現役時代に収集した〈エンタイア〉を懐かしい時代を思いだしながら整理をした。というのも、数があまりにも多くあり、そこで消印がしっかり読み取れるものだけを残し、そうでないものは思い切って捨ててしまった。

ギラギラ太陽

佐藤　凱翔

８月４日熊本へ。そうＳＬ人吉に乗るために。らんちゃんたちは、ママのお腹にいたとき、ママとあわせると３回目。そしてママのお腹の中の子。３人目の子は初ＳＬ人吉。パパは２回目。３人目？そうママのお腹の中には、３人目の赤ちゃんがいる。今回のお産は初めて、ママが楽しみと言っている。今までも言っていたが、不安の方が多いママだった。そんなママが決まって妊娠中にくるのがＳＬ人吉。今回のＳＬ人吉。そんな中運転しているのだろう。

ママが変なことに気付いた。「機関士さん、大工道具の箱みたいにデカイ弁当。日中石炭もやし運転すると体力つかう。１さ箱やったよ！」かな？

当のお食べないとの事なのか？

そのうちにしてもすごい。気になる！さてそろそろ出発。黒い煙に白い煙を上げ「ポーッ！」と大きな汽笛をならし動き出す。２人の子は、一番前の全面ガラス張りの所へ。一番前に子ども用の小さいイスが２つだけある。特等席だ。そこにちょこんと座るらんちゃん、あおちゃん。後姿がかわいい。手をつなぎ座ってる。らんちゃんは「あのねぇ。シュッシュポッポーたい」という。あおちゃんは、「シュッシュッシュー」といっている。二人とも電車はすきみたい。ちょっと走った所でお昼ごご飯。今までであった「おごっつぉ弁当」がもうなくなっている。今は「８６弁当」和メインのおごっつぉ弁当。洋メインの８６弁当。おごっつぉ弁当がないのは、さみしいが８６弁当は唐揚げもありハンバーグもありの弁当。お子様ランチのような豪華な弁当。らんちゃんもあおちゃんもパクパク食べる。一人でもパクパク食べるあおちゃん。「これあーんして」のらんちゃん。甘え上手。窓から見える人たち

喫茶店じゃなくてちょっと歩いておしゃれなカフェへ。お目当てはかき氷。ママがフェ。抹茶のかき氷がおいしそうだったカフェ。見つけたかき氷。ふわっとした氷に抹茶味のたれ。あずき。らんちゃんは、あずきが好きみたいで「お豆ちょうだい」といいあおちゃんは、つめたい！て顔しながらもよく食べる。外は暑く、特別美味しく感じたかき氷。さて食べたいな。近くのお土産屋さんを片っ端からパパとぶらぶら。試食をあおちゃんで食べて回る。「次、はいつぎ。」とどんどん食べたはやっぱりでゆっくり。待合室のSLまで待合室に戻ることに。帰駅にしいね。ぼちぼちぐるりかえし諦めた！売店にある。栗のもくるあおちゃん。すでもちゃん。何度も何度と思ったらママに持っていこと。そろそろSLの時間。待合室にめた。切り替えの早さあ熊本駅まで帰る

なかったあおちゃんは、帰りはゆっくり寝てくれた。はえほんほん。約２時間に絵本。パパは寝ずに絵本。次・次・ずっと絵本。次・２時間持つ集中力。大好きな絵本とは読む。２時間持事。パパはくたくた。いちゃんが言う。みた。来年は泊まりで行こうというじ来年からは泊まてくれたからよし。まぁ楽しい思ができてよかった。来年も楽しくいい思

しかんな賛成した。来年から泊まりだよ！楽しみだね！

次は、お盆。１～１５日に長崎へ旅行。大崎海水浴場にて今年２回目のおはまったあおちゃんは、海。あおプカプカ上手に浮く。バタバタちゃんは、足をバタまでできる。２人上手に入れる。２日保育園でプールを毎日楽しみにしている２人だから、水を怖がることがないのだろう。砂浜では、山つくったり型はめで遊んだり、そしてまた海へ。その後フェリーに乗り鷹島へ。旅の疲れを癒やす、旅館。漁師の宿へ。ご飯までの間ちょっとゆっくり。お昼寝をしてない２人。ねてくれるかなぁ？と思ったららんちゃんは１時間の

は皆手を手をふる。夏休み言う事もあって沢山の子どもたちでにぎやか。みんなでふる。「手をフレール」というそう。片道約２時間の旅。熊本駅から人吉駅まで。らんちゃんは、途中お昼寝。長椅子にゴロンとして天使になってる。あおちゃんは、あっちゃんってこっち行っち行っと暴れん坊。結局一睡もせずに人吉駅に。人吉駅についてから、は、いつも行く

み寝た。海に入り暑さはありで疲れてるはずなのに元気な２人。子どものパワーはすごい。旅館の楽しみ夜ご飯。目の前が海なだけあって、新鮮な魚。ブリットしてトロッとしてる。美味しい夜ご飯の後に、近くの海岸に夕日を見に行くことに。らんちゃんもあおちゃんも海に入れると思って走り出した。波打ち際でチャプチャプしながら日の入りを見る。でっかい太陽があっとゆう間に消えてゆく。パパもらんちゃんもあおちゃんも始めてみる。日が沈むところ。とてもきれい。テレビとかに出てきそうな夕日。らんちゃんは車で爆睡。７時半の出来事。

海も入り走り回り疲れたのだろう５分もかからず寝た。それから朝まで起きることなく、寝たらんちゃん。充電満タン。次の日の朝。ちょっとゆっくりめのスタート。七ツ釜鍾乳洞へ。くそ暑い夏の日がウソのように涼しい。入り口の所で冬に逆戻りのよう。

中は、流れる水の音がしてさらに涼しい。子どもサイズの鍾乳洞。大人は、背中をまげ歩く。子どもはスタスタ。かいだんをのぼったりかがんで歩いたりするとあっとゆうまに暑くなってきた。大人は、けわしい道のりなのにこどもは楽しい道のり。どんどんどんどん進んでいき、出口へ。外は暑い。中と外の温度差であっとゆうまに汗だく。こんなに暑かったっけ？そしてみんなでつめたい足湯。らんちゃんとあおちゃんは、プールと思い足だけじゃなく、体もつかろうとしてる。たしかにつめたく気持ちいいがそれはやめて！

心も体も冷めた所で佐世保へ。佐世保は、ママが好きなアーケード。ちょこっとフラフラ。おもちゃを見るらんちゃん。欲しいものが沢山ありすぎて選びきれず。パパもふらっと見た店でクワガタ見つけた。しかも、グランディスオオクワガタ。パパは、クワガタ・カブトムシが大好き。家には、１匹２匹とだんだん増えていき、今ではカブトムシの雄２匹雌２匹、ノコギリクワガタ雄１匹雌１匹、ヒラタクワガタ雄１匹の合計７匹。さすがにこれ以上は増やせない。分かってるけど欲しくなる。ママに目で訴えたが「もうダメ」と一言で終わった。泣く泣く諦めたパパ。来年はらんちゃんもさわれるようになれるかな？今はゼリー交換を手伝ってくれる。

もうちょっとで触れるんだけどな。

さて次の朝。長崎旅行さいごの日。らんちゃん、あおちゃん初の試み。映画。「ライオンキング」パパとじいちゃんは、初のライオンキング。ちゃんと見れるかな？いざ始まるとポップコーンに夢中な２人。バクバク食べる。らんちゃんは、「見て！キリンさん！」と興味津々に見だした。あおちゃんはうろちょろうろちょろ。前のイスと隙間に落ちてみたりイスの下に入り込んだりはちゃめちゃ食ってあそんでを繰り返すあおちゃん。らんちゃんは怖がって出たりしたけど最後まで見れた。らんちゃんの一番好きな動物はシマウマのよう。おそらく・・。

さて８月は熊本に長崎にと沢山遊び学んだ２人。たくさん遊べるようパパ達みんなで稼ぐぞー！

還暦旅行　鎌倉編

鎌澤　宣子

先月は、旅行の話を中断させて頂きましたので、今月は続きから入ります。

おまたせしました。皆さん水陸両用バスをみたり、乗られたことはありますか？私は今回横浜と鎌倉にいってきます。とお客様にお話ししていたら、お客様が「横浜行かれるんだったら、ぜひ水陸両用バスがあるから、乗ってみて」と。

「何ですか、それ」と思わず聞き返していました。なのでとても楽しみにしていたバスです。

バスの名前は「ダック号」といって、とてもせいたかのっぽのバスです。船のタラップのような階段を登って席に着きます。２階建てのバスの一階部分がないのと、窓ガラスがない上はトロッコ列車のようです。そのまま町中を走って１周した後、埠頭のほうに向かい専用の所から海に入ります。その時は、魔法のかけ声をかけて進みます。本当に陸を走っているそのままに入っていくのにはびっくりしました。

ちょうど横浜港に入港していた、豪華客船「飛鳥」のまじかまで行って下から眺めます。他にも海側から、赤レンガ倉庫や、古い建物などを見て陸に戻ります。ガイドさんがめちゃくちゃおもしろくて、「ハーイ！！皆様歩行者の方が手をふっていらっしゃいます、恥ずかしがらずに振り替えして下さいね！！」とか「ここ！ここでの写真を撮ってくださいね」など、そのしゃべり方がおもしろくて大笑いの３０分くらいの時間だったのですけど、楽しい時間でした。陸からの眺めと海からでは同じ建物でも、全然違って見えます。皆さんも横浜行かれたときは、一度乗ってみて下さい。運賃は高かったですけどそれだけの価値はあると思います。

そろそろ陸に上がってすぐに、スタッフの方が、ホースで足回りに水をかけていました。そうすることで、海水と海藻を落としているんだなと思いました。そうですよね。でないとすぐにダック号は動かなくなってしまいますよね。

さあ、あとは平塚の宿に向かいます。明日はいよいよ今回の旅の目的でもあります。パソさんと美紀さんの息子さんの結婚式が、鎌倉鶴ヶ丘八幡宮でおこなわれるので、被ろう宴に参列される社長の着付けを頼まれているのと、お祝いをいいたいので、鎌倉と横浜の中間にある平塚に宿をとり、明日は電車で移動をしようと思っています。なので早めに宿に入りたいと思っていたのに、見事に渋滞にはまり、息子はイライラ。土地勘がないので余計にイライラ、ハンドル握ると人格が変わる息子なので（笑）まあまあ、そんなにあせらずに、宿には遅れることを電話で連絡をしておいたので、のんびりいこうよと声をかけながら、無事に宿につき、ホッとして、スマホのヘルスケアをみると、１万歩以上歩いていました。疲れるはずです。湯せんにつかって疲れをとって明日もハードスケジュールになる予定なので、ベットに横になるとすぐに、寝息が聞こえてきました。

おやすみなさい。明日が楽しみ。

つづく

お便りします

暑中お見舞い申し上げます。先月から大橋さんに新聞を送って頂きありがとうございます。大橋さんの楽しい記事前から読ませて頂いています。今回は興味のある内容がいっぱい。甘酒レシピ酵素の話、腸の話と読ませていただきすごく為になりました。しらいしさんよく勉強されていますね。実行します。みほさんに感謝です。お身体に気をつけて下さいませ。（太宰府市　人見さん）

毎月風地蔵新聞を送って頂きありがとうございます。毎号楽しいお便りにワクワクしながら読ませて頂いています。大橋さんのいろんな体験談ご家族のこと特に親孝行のお話等とても感動しています。文章もうまくまとめられ読みやすく心和みます。

私、筆無精で何時も返事が遅くなり申し訳ありません。風地蔵の白石さん大橋さん鎌澤さん若い方々に支えて貰いながら絵手紙も続けて勉強したいと思っています。

宜しくお願いします。（太宰府市　中野さん）

何時も何時も楽しい新聞、ありがとうございます。私の大ボケが皆様に知れて、恥ずかしか・・。年々体は動かなく物忘れをするし良いことありません。（筑紫野市　萩尾ヨミさん）

立秋過ぎたのに、まだまだ暑さ厳しいですね。毎号の投稿話題がつきないものですね。尊敬します。風地蔵の皆さん本当に文才でありますね。そして絵手紙もすごく上手ですね。何年経っても上達しないけど教室の皆さんと会うのが楽しみで続けているんですよね。下手でいい精神です。（太宰府市　池田　和子さん）

超大型台風は、当地は大したこともなく過ぎ去りました。又、暑さが戻ってくることでしょう。新聞をいつもありがとうございます。美帆さんは、梅酵素ジュースや甘酒造りと健康に気をつけていらっしゃるのですね。感心いたします。

私は甘酒を買って、いただいています。年を重ねるほど健康には、気をつけねばと思い、運動を頑張っております。（春日市　村山さん）

ちょっと立ち話

大垣の施設も火曜日が休みの所が多いのであまりいかなくなりましたね。一人で自分のペースで行きたいところに行くのもリフレッシュにはよいですよね。

腸内環境あらためて大切なのがよくわかりました。健康第一ですよね。つくってみようっと。

ヨミさん、私もヨミさんのこといえないですね。毎回九州に行くたびに、どこかで失敗をやらかしますよ。とても楽しい旅だったのが、目に浮かびます。

奥田さん、お顔も童顔だからよけいかもです。奥田さんの坊主頭しかみたことないような。

あまでうすさん、なんとも不思議な出来事でしたね。私も「夜行」読んでみたくなりました。（鎌澤）

甘酒も昔、金魚売りの様に売っていたなんて初耳でした。数年前から生酵素がいいという事でモデルさんたちは、毎朝甘酒を造って飲んでいるそうです。今、サプリメントも本当にいろんな種類がありますので実際どれがいいのかもわからないですよね。

社長は毎日飲んで（自家製）いらっしゃるそうですが続けることが大切ですから、私も5年。毎朝自家製のカスピ海ヨーグルトを食べています。腸内環境を整える事が一番の健康だと私も思っています。

社長も甘酒ずっと続けて飲んで下さいね。社長が通っていらっしゃる絵手紙教室の方から私宛に絵手紙が今、届くのがとても楽しみです。皆さん色付けがとても上手なので（私は一番苦手）うらやましいかぎりです。

そして字も力強くすごく伝わってきます。いつもありがとうございます。（大橋）

第１９１号　風地蔵新聞　２０１９年９月３日

川風

しらいしみほ

夏まつり

梅雨が明けた
ことし６人家族の我
が家の暑い熱い夏は、
祭から始まった。

すべりだしは、２０
歳になったばかりの
パパであるかいとの
産地にほど近い大牟
田の大蛇山まつりだ。

福岡の南、熊本の県
境である炭鉱の町大
牟田は じいちゃんの
里でもある。じいちゃ
んのお父さんが亡く
なったとき、ばあちゃ
んと３人で泊まった
記憶だけがある。
精霊流しの舟を見送っ
た。舟がいつまでも
ゆらゆら沖へ向けて
進むので、「じいちゃ
んは船頭さんじゃっ
たけん、操縦の上手
とばい。」のセリフ
がはっきり残った。
あたし、５歳頃の夏
ではなかろうか。
計算すれば４７年ま
え。じいちゃんとばば
あちゃんはいくつだっ
たんだろう。じいちゃ
んの古郷で、夕暮れ
時にイトコのお姉ちゃ
んと遊んだ記憶もジ
グソーパズルのよう
に浮かんできた。
大きなボウリングの
ピンを覚えている。

大蛇山まつりは 江戸
時代から続く伝統の
祭りだ。
じいちゃんが生きて
いたらと思うことが、
最近よくあるが、大
牟田の話を 聞きたかっ
たし、この祭り
出たかったなあ。

らんらんは 六山の大
蛇山が次々に火を吹
き散らし 迫る形相が
恐ろしくパパの顔に
顔を瞬間接着剤でくっ
つけたかのように 離
れない。

三池炭鉱にも興味が
あるし、大牟田をも
う少し調べてみたく
なった。

さて今年もゲリラ
豪雨。例のごとく家
のまわりは海と化し、
恐々避難したが、福
岡のベネチアだと、
割り切って 近場の格
安温泉宿を予約して
この雨が過ぎたら襲
いかかるであろう酷
暑を迎えるしばしの
休息をした。

さあ、翌週連日の暑
さ更新。日曜日はゆっ
くりしようと宣言し
たが、日が昇るに連
れ、ジリジリ暑くな
り川のプールへ行く
ぞ！うきはの山奥 調
音の滝へ向かう。
大小の川プールには
うじゃうじゃと人で
溢れてる。川の水が
流れ込み冷たいのな
んの。いろんな形の
浮き輪の前で、ジーっ
と見てられると、浮
き輪くらい買ってや
りたい衝動にかられ
たが、数秒後には修
正液でぬりつぶした。
浮き輪のすきまをス
ルスルすべるように
両手を支えに 顔を亀
のように水面にのば
し、両足がひらひら
と舵をとる。みごと
な舵さばきだ。ボケーっ
と見とれるあたしが、
水鉄砲の子にベタベ
タにされるわ、バシャ
バシャやられるわ。
よし、次は水着着て
入ろうか。

にちようの夜はママ
の手料理の日。寿司
が食べたいママ。給
料まえだと外食を却
下され、握り寿司を
自分で作った。イカ
スミそうめん付きで。
うまいのなんのって、
みんな無言で食べきっ
た。

ママが準備している
間に、夜散歩をかねて
、近くの神社の祇
園祭に誘う。ＧＩは
イヤだったらしく、
グダグダと言い出し
一人で行ってこい！
と帰ってしまった。
７時なのに、すごく
蒸し暑かった。
「もう帰らん家出す
る。」とラインに書
き置きして、さっさ
か歩いた。
すぐにりおんが電話
してきて、カイトが
２人連れていま、お
母さんのあとをつい
て行くけど早すぎて
見えんし、お父さん
もおるらしいよ。お
父さんを怒って！っ
て言ったけん。とい
う。
で、カイトはなんて？
「うん。わかった。」っ
て。

境内では 祇園太鼓
が鳴り響き、かき氷
１０円、ヨーヨー１
０円と、氏子さんた
ちが 頑張っている。
規模がずいぶん小さ
くなったそうだ。

そわそわしながら
到着を待つ。キタ！
見えた！
顔から火が出るかの
ように真っ赤なあお
ちゃん。１才４ヶ月。
２キロくらいの距離
ずっと歩いてきたと
いう。らんらんはパ
パにおんぶされ。
４人で 蚊にちかっぱ
刺されながら
あたしが蜜をかけた
かき氷を石に座って
並んでたべた。

帰りは いちばん星みー
つけたと、歌い出し
たかと思えばあれよ
あれよと 星が浮かぶ
真っ暗な抜け道を歌
いながら帰った。ら
んらんも手をつない
で歩くが、ちょっと
進んでは 反対に走り
出しながら、人がまっ
すぐ歩く倍の距離を
あおちゃんは 最後ま
で歩いた。

週末は海に川に青春
１８切符ＳＬの旅は
もちろん、平日にあ
る七夕神社祭りや筑
後川花火大会、人形
劇。保育園の夏祭り
と、完全制覇した。

昼間は昨年よりも暑
さが益した炎天下で
仕事してるパパもＧ
Ｉもつわりがひどい
が普通に働くママも
子どもたちの喜ぶ顔
が嬉しくて、夏をめ
いっぱいあそんだ。

我が家には ゆっくり
するなんて
できないあたしがい
る限り、数々のドラ
マ名作が生まれ続け
るだろう。

青春18切符で甲子園

四十八歳にしてはじめて「青春18切符」で甲子園へ。
5人で11850円、1日乗り放題。中年でも使える！

子供5人を引率。まずは滋賀県米原市までドライブ。
1日300円の激安駐車場に停め、JRの「新快速」で大阪駅へ。
大垣駅だと乗り換え時間が限られるので。
タイガースファンのお客様に教えていただいた。

そのまま阪神に乗り換え、甲子園駅へ。
朝7時半に出てレフトスタンドの座席に座ったのは11時。
近いものだ。平日の一回戦ならまだ外野席はなんとか買える。

仙台育英対飯山は20対1。お目当ての習志野対沖縄尚学は延長戦。
習志野の美爆音で有名なブラスバンドと沖縄の指笛の応援合戦もよかったが、
初出場飯山の満員のアルプススタンドの一球ストライクが入るだけで、
唸るような大声援に感動した。

炎天下に5時間。全員野球部なので何とかなったがヘロヘロ。
車で行っているのでビールが飲めなかったのが一番辛かった。

元気な限り毎年「聖地巡礼」したいものだ。

庭師　奥田良樹